

哲學研究

第四十二卷 第三冊

第四百八十五號

昭和三十八年二月一日發行

近世哲學の世界概念……………カール・レヴィット
佐藤明雄譯

苦しみの場所……………森口美都男

—その二—

デカルトの悟性……………水野和久

京都大學文學部内
京都哲學會

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
 - (一) 毎月一回會誌「哲學研究」を發行する
 - (二) 毎年公開講演會を開く
 - (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく
委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委嘱する
- 一、本會に賛助員若干名をおく
賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない
學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる
- 一、會員は會費として年一、五〇〇圓（會誌十二冊分を含む）を前納する
但し 二回又は三回に分納することもできる
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

京都哲學會役員

委員

湯本	武水	松尾	服部	蓮實	野田	西谷	長尾	常俊	辻村	棚瀬	田中	武内	高田	園原	島澤	重山	梶崎	柿峯	大白	上野	井島	石田	池田		
淺吉	藤垣	尾正	部重	實重	田又	谷啓	尾雅	俊宗	村公	瀬裏	中美	内義	田三	原太	芳俊	澤山	山崎	峯祐	井野	二照	島田	義	田		
幸良	一	義	正	重	又	啓	雅	三	公	裏	美	知	義	三	太	芳	俊	雄	祐	二	照	義	田		
孫治	雄	涉	海	明	康	夫	治	人	郎	一	爾	郎	範	郎	郎	夫	郎	一	一	顯	尚	夫	勉	仁	祐

申しますのは、望みうるあらゆるものをもっているとき、人は自己について考えることを忘れるものですし、のちに運命が転ずれば、まえに運にたよっていたのならそれだけ意外の驚きにおそわれるものです。結局、一般的にいえますことは、理性を損わぬかぎり、幸福になる手段をわれわれから取り去るものはないことでもあります。」(a. Elisabeth, 1^{er} sept. 1645; AT. IV 283)

(筆者 京大文学部〔哲学〕研修員)

前	号	目	次
		Abduction ……………	山内得立
		——「意味の研究」其の四——	
		ロックの政治思想……………	塚崎 智
		文芸作品の構造に関する一考察……………	北村ひろ子
		——主として重層性と統一性について——	

次	号	論	文	予	告
				いわゆる錯視の問題をめぐって……………	柿崎 祐一
				インド知識論に於ける真偽の考察……………	宇野 博
				——特に正理・勝論とミイサーンサーとの対比において——	
				自然の歴史と自由の歴史……………	池内 健次
				——カントの歴史哲學的思想の考察——	

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年一、五〇〇圓又は半年七五〇圓）をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入、及び發賣に關する一切は東京都千代田區代官町二 創文社（振替口座東京九二四七二番 創文社）宛に願います
一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに京都哲學會宛御拂込下さい（一年分又は半年分）、會費は原則として本誌十二冊（又は六冊）の送附濟を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年（又は半年）毎に精算します

一、會員の轉居・入退會の事務及び編集事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい
一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田
京都大學文學部内

昭和三十八年一月三十一日印刷
昭和三十八年二月一日發行

編 集 人 京 都 哲 學 會

京 都 大 學 文 學 部 内

編 集 代 表

常 俊 宗 三 郎

發 行 人 久 保 井 理 津 男

東 京 都 千 代 田 區 代 官 町 二

堀 内 文 治 郎

印 刷 所 堀 内 印 刷 所

東 京 都 神 田 三 崎 町 二 一 六

發 行 所 創 文 社

株 式 會 社 東 京 都 千 代 田 區 代 官 町 二

振 替 口 座 東 京 九 二 四 七 二 番

電 話 九 ノ 内 〇 四 〇 〇 八 番

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい

一、本誌の御註文はすべて代金送料共（一部、定價一五〇圓、送料・四〇圓）前金にてお送り下さい

昭和
三十八年
二月
三十一日
印刷
發行
(每月
一回)

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES
THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XLII

February, 1963

No. 3

Der Weltbegriff der neuzeitlichen PhilosophieKarl Löwith

Where Sufferings Are (II).....Mitsuo Moriguchi

Qu'est-ce que l'entendement cartésien ?.....Kazuhisa Mizuno

改
正
定
価

二
五
〇
円

Published Monthly
By
THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY
(The Kyoto Tetsugaku-Kai)
Kyoto University

IBM 6427

Kyoto, Japan